記 者 発 表 資 料

平成２２年度 能代河川国道事務所の事業概要について

能代河川国道事務所は、あきた県北の拡がる未来に向けて
予算額　※９８億３，９００万円をもって
川づくり、道路づくりを通じて
県北地域の発展を支援していきます。

※１　業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載
※２　予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を記載

【予算の概要】
平成２２年度　能代河川国道事務所の予算配分額は

河川関係	１０億	１，０００万円
道路関係	８８億	２，９００万円
合　計	９８億	３，９００万円

【主な事業の内容】
（河川）　○ 米代川河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）
　　－ 河道掘削・築堤等の継続推進［平成２２年度完成予定］

（道路）　○ 鷹巣大館道路　－　用地買収及び改良・トンネル工事の継続推進
　　○ 大館西道路　－　改良・舗装工事の継続推進
　　○ 日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂(新直轄区間)
　　－　改良・トンネル工事の継続推進
　　○ 陣場視距改良　－　改良・橋梁工事の継続推進
　　○ 上野交差点改良　－　工事の継続推進・完成

平成２２年３月２９日
国土交通省 能代河川国道事務所

発表記者会：能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　能代河川国道事務所
能代市鰄渕字一本柳９７－１
TEL.０１８５－７０－１００１(代表)
【河川関係】副所長　武田（たけだ）　節朗（せつろう）（内線204）
【道路関係】副所長　斉藤（さいとう）　文憲（ふみのり）（内線205）

平成２２年度　能代河川国道事務所の事業概要

能代河川国道事務所は

あきた県北の拡がる未来に向けて

川づくり、道路づくりを通じて、県北地域の発展を支援していきます。

予算の配分額内訳（単位：百万円）

	Ｈ２１年度	Ｈ２２年度	倍率 H22/H21
河　川　関　係	１，４１１	１，０１０	０．７
道　路　関　係	７，６５１	８，８２９	１．２
能代河川国道事務所計	９，０６２	９，８３９	１．１

※１　業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載
※２　予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を記載

１．河川事業の概要

《　米代川河川災害復旧等関連緊急事業　》

平成１９年９月１７日からの豪雨により、米代川全川ではん濫危険水位を越え、各地で甚大な被害を受けました。

このことから、米代川支川阿仁川において「災害復旧助成事業（秋田県）」の実施に伴い、米代川本川においても「河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）」を実施し、河川上下流一体となった家屋への浸水被害の軽減を推進します。

この事業は、平成１９年１１月に事業採択されており、平成２２年度の完成を目指します。

米代川河川災害復旧等関連緊急事業 【ｐ４】

平成２２年度は、河道掘削（能代市）、家屋浸水対策［築堤等］（能代市）を平成２１年度に引き続き実施します。

《　米代川河川工作物関連応急対策事業　》

河川工作物において工作物点検を実施し、変状等が確認された箇所について応急対策を行います。

２．道路事業の概要

《　改築事業　》

強い県北地域の創造と地域生活の安全安心の確保に向け、空港･港湾のカバー圏拡大、広域的な交流・連携の促進、第三次救急医療施設カバー圏の拡大、道路のネットワーク化による迂回路確保、国道７号の交通混雑緩和や交通事故削減に効果のある高規格幹線道路等の整備を進めます。

一般国道７号　鷹巣大館道路（たかのすおおだて）　（北秋田市～大館市）【ｐ５】

・北秋田市脇神（わきがみ）～北秋田市栄（きたあきたしさかえ）間　延長５．６ｋｍ

平成２２年度は用地買収の継続推進を図るとともに改良工事に着手します。

・北秋田市栄～大館市櫃崎（ひつざき）間　延長８．３ｋｍ

平成２２年度は改良工事の継続推進及び摩当山トンネル（延長３，３３６ｍ）の掘削巻立の継続推進を図ります。

一般国道７号　大館西道路（おおだてにし）　（大館市）【ｐ６】

・大館市櫃崎～大館南ＩＣ間　延長２．６ｋｍ

平成２３年度の暫定２車線供用に向けて、平成２２年度は改良工事の継続推進を図るとともに、舗装工事に着手します。

・大館北ＩＣ（仮称）～大館市商人留（あきひとどめ）間　延長１．６ｋｍ

平成２２年度は、改良工事の継続推進を図ります。

《　改築事業（新直轄）　》

日本海沿岸東北自動車道　大館北（おおだてきた）～小坂（こさか）　（大館市～鹿角郡小坂町）　延長１４ｋｍ【ｐ７】

平成２１年度は、改良工事及びトンネル２箇所（大茂内第二トンネル：延長２，９８８ｍ、雪沢第一トンネル：２，５５３ｍ）の掘削巻立の継続推進を図ります。

《　交通安全対策事業　》

交通事故の多発箇所、渋滞箇所等の交通の安全を確保するために、線形の改良、交差点の改良、通学路区間の歩道設置を行います。

一般国道７号　陣場視距改良（じんばしきょ）　（大館市）　延長１．０ｋｍ【ｐ８】

平成２２年度は、引き続き改良・橋梁工事を継続推進します。

一般国道７号　上野交差点改良（うわの）　（大館市）【ｐ９】

平成２２年度は、工事を継続推進し完成を図ります。

事業名	米代川（よねしろがわ）河川災害復旧等関連緊急事業 （秋田県能代（のしろ）市他）

事業着手：平成19年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

平成19年9月、前線の影響による豪雨により、米代川全川ではん濫危険水位を越え、各地で甚大な被害を受けました。このことから、再度災害の防止を図るため、米代川における河川整備が緊急的に求められています。

「事業の概要」

米代川本川においては「河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）」を支川阿仁川「災害復旧助成事業（秋田県）」と上下流一体となって、家屋への浸水被害の軽減を推進します。復緊事業は、平成19年11月に事業採択されており、平成22年度の完成を目指します。







平成21年度に引き続き河道掘削を実施します。

河道掘削や築堤整備等により、平成19年9月洪水で浸水被害を受けた家屋の再度災害防止を図ります。

平成22年度事業費及び事業内容

○平成21年度に引き続き、河道掘削（能代市）及び家屋浸水対策（築堤等）（能代市常盤地区）を実施します。
○平成22年度工事関係費：929百万円

事　業　効　果

○流下能力の向上が図られ、家屋の浸水被害の軽減が図られます。

事業名	一般国道7号　鷹巣大館道路（直轄） （秋田県北秋田市～大館市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成20年代

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

国道7号では大館市内をはじめとし、朝の通勤時間帯及び冬期間に渋滞が発生しています。また、三次救急医療施設の60分圏域カバー率の拡大及び、地域産業の活性化や企業誘致の拡大のため、リサイクルポート能代港及び大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

さらに、災害・事故発生時の国道7号の迂回路としての機能も持つ代替ルートも必要とされています。

「事業の概要」

鷹巣大館道路は、延長13.9kmの自動車専用道路で、平成18年度から用地買収及び工事に着手し事業を進めています。





▲北秋田市栄地区から摩当山トンネルを望む



▲大館市大子内地区から摩当山トンネルを望む

平成22年度の予定

○北秋田市脇神～栄間においては用地買収の継続推進を図るとともに改良工事に着手します。
○北秋田市栄～大館市櫃崎間においては改良工事の継続推進及び、摩当山トンネル（延長3，336m）の掘削巻立の継続推進を図ります。
○平成22年度工事関係費：300百万円(鷹巣大館道路Ⅱ期)、3，672百万円(鷹巣大館道路)

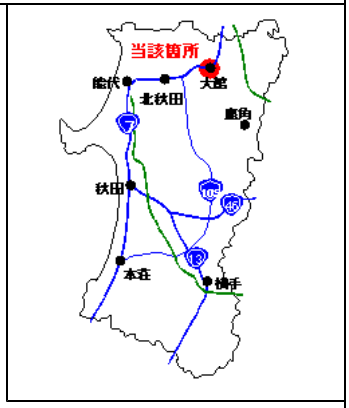
事　業　効　果

○既設道路での交通渋滞の緩和・交通事故の削減が図られます。
○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○三次救急医療施設（秋田市・弘前市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。
○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

事業名	一般国道7号　大館西道路（直轄） （秋田県大館市）

事業着手：昭和57年度	完成・供用の目標年度：平成23年度2.6km部分暫定2車線供用

事業の必要性・事業の概要



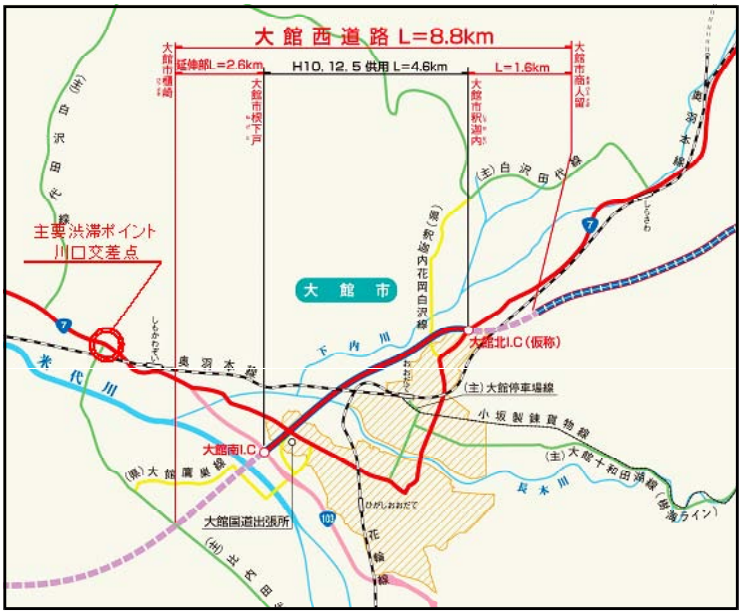
「事業の必要性」

国道7号では大館市内をはじめとし、朝の通勤時間帯及び冬期間に渋滞が発生しています。また、三次救急医療施設の60分圏域カバー率の拡大及び、地域産業の活性化や企業誘致の拡大のため、リサイクルポート能代港及び大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

さらに、災害・事故発生時の国道7号の迂回路としての機能も持つ代替ルートも必要とされています。

「事業の概要」

大館西道路は延長8.8kmの自動車専用道路で、大館南IC～大館市釈迦内までの4.6kmについては供用済みであり、残る2区間（延長4.2km）について事業を進め、大館市櫃崎～大館南IC間（延長2.6km）については、平成23年度の暫定2車線供用を予定しています。





▲大館市櫃崎地区から大館南IC方向を望む



▲大館北IC（仮称）付近から商人留地区を望む

平成22年度の予定

○大館市櫃崎～大館南IC間においては、平成23年度の暫定2車線供用に向けて、改良工事の継続推進を図るとともに舗装工事に着手します。
○大館北IC（仮称）～大館市商人留間においては改良工事の継続推進を図ります。
○平成22年度工事関係費：1，150百万円

事　業　効　果

○交通渋滞の緩和・交通事故の削減が図られます。
○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○三次救急医療施設（秋田市・弘前市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。

事業名	日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂（新直轄） （秋田県大館市～鹿角郡小坂町）

事業着手：平成10年度	完成・供用の目標年度：平成20年代

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

秋田県北地域においては、一般国道7号の交通混雑の緩和及び高速交通ネットワーク形成による県内及び北東北3県との地域間交流の促進、リサイクルポート能代港・大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

「事業の概要」

日本海沿岸東北自動車道大館北～小坂は大館市と鹿角郡小坂町を結ぶ延長14kmの区間であり、延長の75％が橋梁及びトンネルとなっています。

平成16年度から新直轄方式により国土交通省で事業を進めています。





▲大館市商人留地区から釈迦トンネルを望む



▲完成した大川目沢橋

平成22年度の予定

○改良工事及びトンネル2箇所（大茂内第二トンネル：延長2，988m、雪沢第一トンネル：延長2，553m）の掘削巻立の継続推進を図ります。

○平成22年度の工事関係費：2，900百万円

事　業　効　果

○高速交通ネットワークによる広域観光ルートが拡大します。

○エコタウン（秋田県北地域エコタウン計画）とリサイクルポート能代港の結節が強化されます。

○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

事業名	一般国道7号　陣場視距改良（直轄） （秋田県大館市）

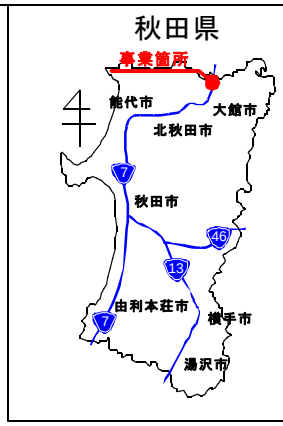
事業の必要性・事業の概要

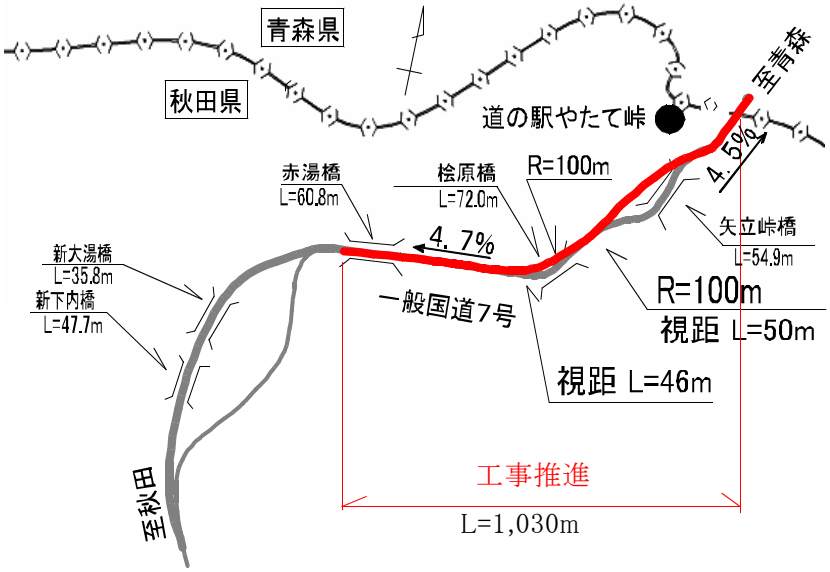
「事業の必要性」

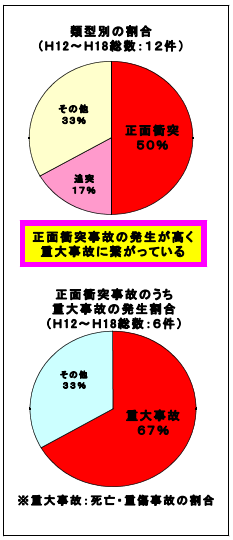
一般国道7号の秋田県と青森県境にある矢立峠は、山地部を通過する道路で、急カーブ（Rmin=100m）、急勾配（i=4.7%）区間が連続しており、十分な視距も確保されておりません。特に、冬期の滑走による衝突事故や追突事故等が発生しており、事故防止及び交通の円滑化が求められています。

「事業の概要」

陣場視距改良は、線形改良により急カーブ、急勾配を解消し、交通事故の削減と交通の円滑化を図ります。

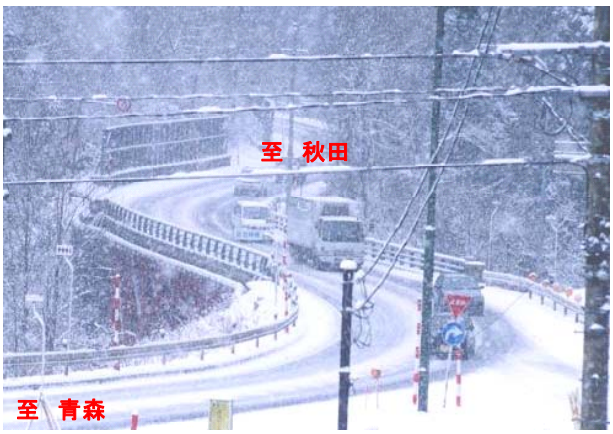








▲冬期交通状況



▲急カーブが連続する矢立峠

平成22年度の予定

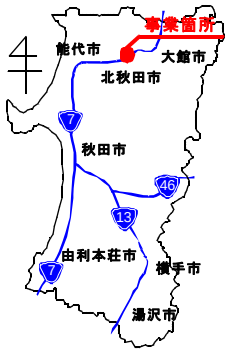
○平成22年度は、引続き改良工事及び矢立峠橋（床版工）、赤湯橋（上部工）の橋梁工事を継続推進します。
○平成22年度の工事関係費：453百万円

事　業　効　果

○線形不良解消：急カーブ（Rmin=100m→200m）、急勾配（ゆずり合い車線整備）の解消により、安全性が向上し交通事故の削減が図られます。

事業名	一般国道7号　上野（うわの）交差点改良（直轄） （秋田県大館市）

事業の必要性・事業の概要



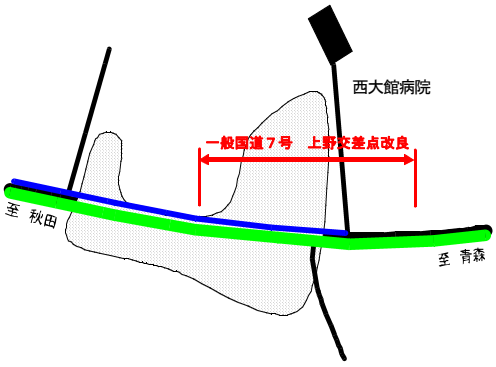
「事業の必要性」

一般国道7号の大館市川口（かわぐち）地内の当該箇所は、国道7号と市道早口川口（はやぐちかわぐち）線が交差する交差点であり、右折レーンが無いため右折待ち車両への追突事故や右折車と対向直進車との衝突事故が発生している。このため、交差点改良事業による交通事故の防止及び交通の円滑化が求められています。

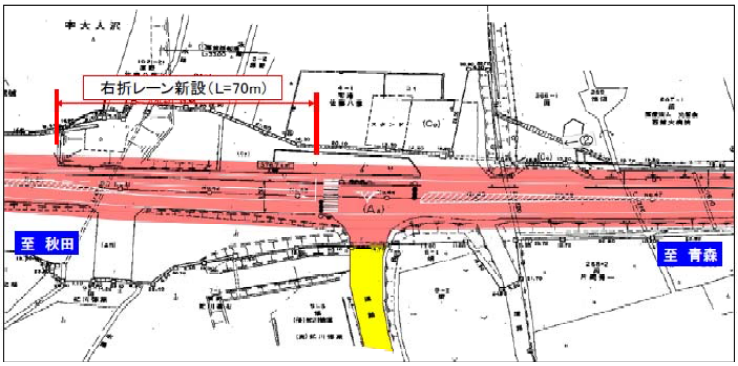
「事業の概要」

下り線側に右折レーンを新設し、交通事故の削減や交通の円滑化を図り、安全・安心の確保を行うものである。

【事業箇所図】

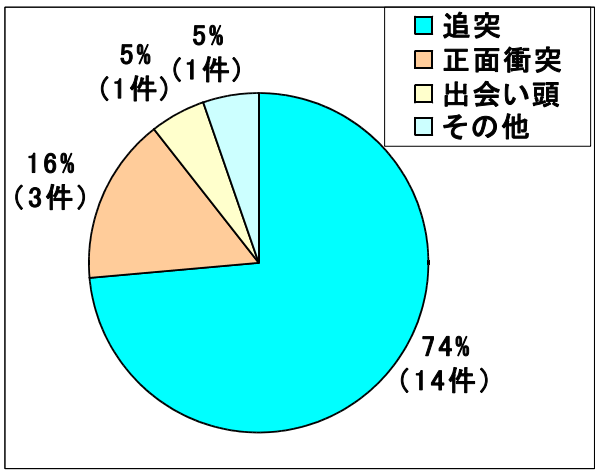


【事業計画平面図】





▲右折待ち車両が後続車の障害となっている



▲右折待ち車両が原因による追突事故と右折時の衝突事故が約9割を占める
（H16－19事故データ）

平成22年度の予定

○平成22年度は、工事を継続推進し完成を図ります。
○平成22年度の工事関係費：84百万円

事　業　効　果

○下り線側への右折レーンの新設により、交通事故を削減するとともに、交通の円滑化を図ります。